

# くまさんだより

日本基督教団 豊橋東田教会  
〒440-0055 愛知県豊橋市前畑町 112 ☎0532-54-3435  
公式サイト <https://azumada.org/> 武井恵一牧師 080-3428-3200

2020年  
8月号

8月16日発行

イラストは全て池谷陽子さんご提供

## 8月9日 聖霊降臨節第十一主日礼拝説教

「ヨハネより偉大な者はいない」武井 恵一牧師

ルカによる福音書7章24～35節 新約聖書116頁



ルカによる福音書7章24～35節

<sup>24</sup>ヨハネの使いが去ってから、イエスは群衆に向かってヨハネについて話し始められた。「あなたがたは何を見に荒野へ行ったのか。風にそよぐ葦か。<sup>25</sup>では、何を見に行ったのか。しなやかな服を着た人か。華やかな衣を着て、ぜいたくに暮らす人なら宮殿にいる。<sup>26</sup>では、何を見に行ったのか。預言者か。そうだ、言うておく。預言者以上の者である。<sup>27</sup>『見よ、わたしはあなたより先に使者を遣わし、あなたの前に道を準備させよう』と書いてあるのは、この人のことだ。<sup>28</sup>言うておくが、およそ女から生まれた者のうち、ヨハネより偉大な者はいない。しかし、神の国で最も小さな者でも、彼よりは偉大である。」<sup>29</sup>民衆は皆ヨハネの教えを聞き、徴税人さえもその洗礼を受け、神の正しさを認めた。<sup>30</sup>しかし、ファリサイ派の人々や律法の専門家たちは、彼から洗礼を受けなくて、自分に対する神の御心を拒んだ。<sup>31</sup>「では、今の時代の人たちは何にたとえたらよいか。彼らは何に似ているか。<sup>32</sup>広場に座って、互いに呼びかけ、こう言っている子供たちに似ている。『笛を吹いたのに、踊ってくれなかった。葬式の歌をうたったのに、泣いてくれなかった。』<sup>33</sup>洗礼者ヨハネが来て、パンも食べずぶどう酒も飲まずにいと、あなたがたは、『あれは悪霊に取りつかれている』と言い、<sup>34</sup>人の子が来て、飲み食いすると、『見ろ、大食漢で大酒飲みだ。徴税人や罪人の仲間だ』と言う。<sup>35</sup>しかし、知恵の正しさは、それに従うすべての人によって証明される。」

この聖書記事は、洗礼者ヨハネとその弟子たち、そして、主イエス・キリストとの現実的関わりが背景に浮かび上がる歴史的記録です。

洗礼者ヨハネが、独りで荒野での洗礼活動を開始し、多くの人々に悔い改めの洗礼を授けた結果、「荒野の洗礼者ヨハネ」として、徐々に民衆に知られるようになりました。具体的に悔い改めをうながし、ヨルダン川で洗礼を授けるヨハネを師と仰ぎ、協力する者が少なからずあらわれました。ヨハネを『洗礼者ヨハネ』、『神に仕える聖徒』と仰ぎ、弟子になる者が次第に増え、ヨハネを中心とする集団が形成されました。かれらは、かなり多数になり活動を開始し、この時、既に公に知られる団体に成長していました。

この頃、主イエス・キリストが父なる神から派遣され、父なる神の御心に従って福音宣教の活動を開始し、新しい時代の息吹が吹き始めました。



フヨウ(芙蓉)

洗礼者ヨハネは、祭司であった父ザカリヤに愛され、神様を愛し、エルサレム神殿に出入りしつつ少年期を過ごし、成長するにしたがって、ユダヤ・イスラエルの「唯一神信仰」を深め、真の神に全身全霊をかたむける生活へ進みました。エルサレム神殿祭司たちの偽善に対する青年ヨハネの思いは、ついに、神殿から荒野に向かわせ、ヨルダン川にて悔い改めの洗礼を授ける活動に至らせました。主イエスは、そこでヨハネに会い、ヨハネから、洗礼を受けられたと、聖書に記されています。

そのヨハネが、ガリラヤから伝道を開始した主イエスのことを聞き及びます。そこで、ヨハネは弟子の中から二人を呼んで、主イエスのもとに送り、こう言わせました。

「来るべき方は、あなたでしょうか。それとも、ほかの方を待たねばなりませんか。」

この問いに主イエスは、イザヤ書35章、61章の言葉を引用され、ご自分こそメシアであることを明らかにされました。主イエスは、ヨハネの弟子に、「行って、見聞きしたことをヨハネに伝えなさい。」と、救いが現実におこっていることを、自分の目と耳で確かめるように弟子に言われたのでした。目の見えない人が見えるようになり、足の不自由な人は歩きだした、その喜びはどんなに大きかったでしょう。主イエスは、一人ひとりの人間を愛と喜びで満たした救いの現実をヨハネに伝えたのでした。

そして、ヨハネの使いが去ってから、イエスは群衆に向かってヨハネについて話し始められました。ヨハネとは何者か、どんな役割を荷ったのかを語られました。人々が荒れ野で見たヨハネこそが、預言者、いや預言者以上の者と言ってよいほどの者であると、明言されました。

イザヤ書40章3節、マラキ書3章1節には、救い主が現れる前に、その準備をする者が遣わされると預言されていますが、その者こそヨハネである、と明らかにされました。主イエスは、人間の中で最も偉大な者はヨハネである、と語られます。しかし、そんなヨハネでさえ、神の国にあるもっとも小さい者でも、ヨハネより偉大であ

ると、主イエスは語られました。

当時のユダヤ社会に現れたヨハネに、悔い改めの洗礼を呼びかけられた人々は、ヨハネに聞き従い、徴税人さえもが洗礼を受けた状況が生まれていたことを聖書は伝えています。ところが、ファリサイ派や律法学者らは、ヨハネの存在を無視し、主イエス・キリストの来臨が目前でおこっているにも拘わらず、洗礼を拒みました。そのことに対して、主イエスは譬えを話されます。子どもたちが、広場で二組に分かれ座り、遊ぼうとしているのに、互いに相手のいうことを聞かず、争う様に似ている、と譬えられました。

そんな状況に対して、主イエスは、聞いている群衆にむかって、洗礼者ヨハネやご自分の悪い噂を流そうが、「知恵の正しさ」は、キリストを信じる者が明らかにしてゆく、と言われました。

#### ルカによる福音書7章35節

**35**しかし、知恵の正しさは、それに従うすべての人によって証明される。」

では、「知恵の正しさ」は、何を指し示すのか、コリントの信徒への手紙一 には、次のように記されています。

#### コリントの信徒への手紙一1章30節

**30**神によってあなたがたはキリスト・イエスに結ばれ、このキリストは、わたしたちにとって神の知恵となり、義と聖と贖いとなられたのです。

この聖書箇所が示すように、この場合の「知恵」とは、キリストを指し示しています。

キリストの正しさは、実際の出来事となり、歴史的事実として証明されると、主イエスは言われました。しかも、キリストに従うすべての人によって証明されると言われました。世界の歴史をみると、キリスト教が、小さな群れから時代を経て、今や、世界に広がりました。遙か東の日本にもキリスト教は広まり、わたしたちの教会も、キリストに従う者によって建てられたのです。いまや、チベットでもキリスト教が

広まりつつあると聞きます。

当時の人は、洗礼者ヨハネをみて、気がおかしくなったという者もあったかもしれません。また、主イエスが、徴税人も食事をしたりするのを見て、大食漢で、酒まで飲むという者もいたのでしょう。しかし、そんな誹謗中傷は、風のように消え、知恵の正しさ、キリストの正しさは、キリストを信じる者によって証され現在に至っています。

ここで、わたしたちは、キリストに従う者として、自分は証しているかとの生き方を問われます。

主イエス・キリストが、わたしたちに求められる、「成すべきこと」「行われて良いこと」は、ほとんどの場合、何の徴もなく、心がうながされるかたちで与えられるのです。

でも、何か行き悩む時、何かしら不安や疑問が残っている時は、直接、三位一体の神、主イエス・キリストに祈られるのが最善です。三位一体の神、主イエス・キリストは、わたしたちの祈る思いを受け止められ、その方向や、現実の可能性を察せられ、なすべきことを示唆されると信じます。

わたし自身、迷ったとき何度も祈り、ほとんどの場合前に進むことが出来ました。迷い、戸惑ったら、何度でも重ねて祈るのです。

自分自身の在り方をこえて、あなたの祈りはいつか、神様に、三位一体の神様に、そして、あなたと共に在る聖霊の主によって「聞かれます」と、申し上げます。但し、それは、願いの具体的な内容がきかれ、その通りに実現するということではありませんが、あなたにとって、良い答えを必ず神様は与えてくださいます。そのあなたの歩みがキリストを証することへとつながるのです。

しかしながら、三位一体の神様に真に祈ることは、時に困難に思われます。真心から祈ることができているか、全力をふり絞って祈っているか、と考えるみると、気楽にやすやすと祈ることが難しく思われます。でも、そんなわた

したちのうめきを聖霊の神様は、助け、執り成し、祈る者へとさせてくださいます。どう祈ってよいのか分からずとも、祈りの言葉を与えられ、小さい者であるにも拘わらず、キリストに従うすべての人々の群れに加えられ、キリストを証する者とさせていただいています。

安心して、心から、祈りましょう。わたし自身も、同じです。心から祈り、与えられています。そして、歩ませていただいています。

祈り 讚美歌(21) 237番 「聞け、荒れ野から」

聖書の言葉はすべて以下から引用しています。  
聖書 新共同訳：  
(c) 共同訳聖書実行委員会  
Executive Committee of The Common Bible Translation  
(c) 日本聖書協会  
Japan Bible Society . Tokyo 1987.1988

